

“Shake the World !!” 87歳の誕生日を迎えて

生涯学習開発財団理事長 松田妙子

Shake the World! (世界をゆさぶれ!) 私は小さいころからいつも、この言葉「シェイク・ザ・ワールド」が心の中に響いていました。

どんな変化をもたらしたら自分の周りの人達がもっと幸せを感じるのか、自分が何をすれば社会をより良くできるのか。そうした考え方は、社会事業に取り組んでいた両親や大叔父・叔母の大森兵蔵・安仁子の影響が多分にあると思います。私のこれまでの人生87年間、揺るぎないものとして今日まで続いています。次ページで紹介しておられます社会起業家の皆様も、同様の想いを抱いて取り組んでおられるのではないのでしょうか。



ピーアール会社時代の松田妙子。右写真は夫の佐藤啓一郎とともに仕事中のひとコマ。

20代でアメリカに渡り、大学で学びながらテレビ局で働いていたとき、大変驚いたのは、日本がまるで別の国のように紹介されていたことです。早速日本に帰国後、鉛筆1本と電話機1台で始められる、日本ではまだ聞き慣れないPR会社を主人と起こしました。海外に日本の真の姿を紹介したり、企業同士を繋げたりする仕事でしたが、日本を何とかしたいという想いが大きかったと思います。

その後、自分の家を建てる際に、当時の貧弱な住宅事情を改善する必要があると強く感じ、ツーバイフォー工法を日本に紹介。そして、良い家を作るには良い工務店の経営者を育てる必要があるとの想いから、住宅産業研修財団を設立しました。新しい試みとして、従来の縦割りではない、官・民・学の横断的勉強会を続け、現在206回になります。一方、行き過ぎた西洋化を反省し、日本の伝統的文化的の復権を訴え、大工育成塾を起しました。

もう30年になりますが、高齢社会を迎える日本が人材不足にならないよう、生涯学習という概念を訴え生涯学習開発財団を設立し、活動してきました。

振り返ると、いずれも自分なりの解決策を見つけ事業として立ち上げてきたと自負しておりますが、なにより幸せだったのは、すべてワクワク楽しくやってこれたことです。

これからソーシャルビジネスをお考えの皆様、より良い世の中のために楽しく、

“Shake the World !!”